



四十八瀬川 氾濫



天気図(7月11日09時)



総降水量分布図



家屋被害



田畑被害



田畑被害

気象の概要	<ul style="list-style-type: none"> 7月9日、梅雨前線が南下し県北部を中心に強い雨となり、10日、九州北部に停滞したため県東部と西部で大雨となった。11日から12日にかけて前線が対馬海峡南部に停滞し、県内各地で大雨を降らせた。 7月9日から13日にかけて降った雨は、須佐で610mm、仙崎で557mm、県中部で400mmに達した。 					
	総降水量(mm)	589.5(萩)	日降水量(mm)	297.0(山口)	1時間降水量(mm)	61.0(下関)
被災場所	県内全域					
被害の規模	(人的被害)死者17人、重傷者21人、軽傷者31人 (住家被害)全壊84棟、半壊141棟、一部損壊9,144棟、床上浸水3,098棟、床下浸水22,104棟 (その他被害)道路6,106ヶ所、河川3,833ヶ所、山地崩壊1,173ヶ所 など <被害額総計>約300億円					
被害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 県北西部を中心に県下56市町村の内52市町村に被害が及び、山口市、小野田市、楠町、小郡町、徳地町、川上村の2市3町1村に災害救助法が適用された。 道路、鉄道がいたるところで、崩壊、浸水によって不通となり、一部孤立する町村が発生した。 中国地方では河川の氾濫による浸水害が多発し、愛知県や岐阜県、神奈川県ではがけ崩れや河川の氾濫により多数の死者が出たことから、気象庁では7月3日から13日にかけての大雨を「昭和47年7月豪雨」と命名した。 					



しょうわ ごうう さいがいきけんかしょ ひがい
 昭和47年7月豪雨では、災害危険個所で被害が発生したんだ。
 自分の住んでいる地域にどんな災害が発生するのか、日頃からハザードマップで確認しよう。